

コンビナート港湾における地震・津波対策に関し
自治体・関係団体から頂いた意見・要望等

「コンビナート港湾における地震・津波対策検討会議」において、コンビナート港湾における地震・津波対策を進めるにあたって、自治体の防災担当部局や事業者団体より頂いた意見・要望等は下記の通り。

地震・津波対策に関し自治体・関係団体から頂いた主な意見・要望等

(自治体)

- 護岸の液状化対策、護岸の一体的な整備手法の検討、及び護岸の補強や防潮堤の嵩上げ等津波被害軽減のための対策強化が必要
- 津波警報発表時等における緊急措置・避難体制の確保、入出荷設備等の地震・津波対策（油の海上流出防止等）及び早期復旧対策が必要
- 早期復旧のためのBCPの策定を進める必要がある
- 液状化対策の実施状況確認（入出荷設備、護岸等を含む）が課題である
- 想定津波高に応じた総合的な浸水対策を講じることが必要

(関係団体)

- 労働者の安全や迅速な復旧のため、緊急事態の際の避難道路や橋梁等の確保等が重要
- 一たび重大な事態が発生すると事業継続が極めて困難となり、雇用にも全国的な影響が懸念されるため、事前の対応が緊要
- 被害の最小化という観点から、必要度の高いものを優先的に実行する観点が不可欠であり、当面は公共性の高い分野が主題となる
- 国、自治体、企業における担う役割を明確にした、対策の円滑な実施が必要
- L2地震・津波に対する海上入出荷設備への対応について、後背地を含めた港湾全体の問題として、その対策は、国の施策として実施して頂きたい